

初期消火とともに安全に避難誘導

火災発生

午前零時、3階外科病棟から出火。初期消火に当たるとも鎮火せず、入院患者を安全に屋外に避難誘導。

11月18日、城西病院で通報と避難誘導を中心にした総合消防訓練が行われました。重症患者含む12人が患者役になり、18人の職員が非常の際にそれぞれの役割を確認しながら、訓練が行われました。

3階での出火で、初期消火とともに消防や病院内の関係部署にいち早く通報。さらに自分で動けない患者は看護師が抱え、介助のいる患者は職員が付き添い、きびきびした動作で訓練を行いました。

筑西広域消防本部結城消防署からも指導に訪れ、講評で「もっと火事だと騒ぎ、小さく消すことが大切。避難の仕方はよかった。火災などの時は、必ず避難状況を消防に伝え、連絡を密にしてほしい。火災で怖いのが煙。マスクを3重にするなど煙を避けてほしい。火事や地震の場合、どこに避難するかを日ごろから考えてほしい。万一の時には、押さない、駆けない、しゃべらない、戻らない、近づかない—を徹底してほしい」と話していました。

平成28年11月21日

